

## 2019年度 予算

去る 2 月 26 日に開催された組合会において、2019 年度の三菱重工健康保険組合の予算が決まりましたので、その概要をお知らせいたします。

### 1. 一般勘定

2019 年度予算については、これまでの保険料率（86/1000）の維持を念頭に、予算編成を行いました。

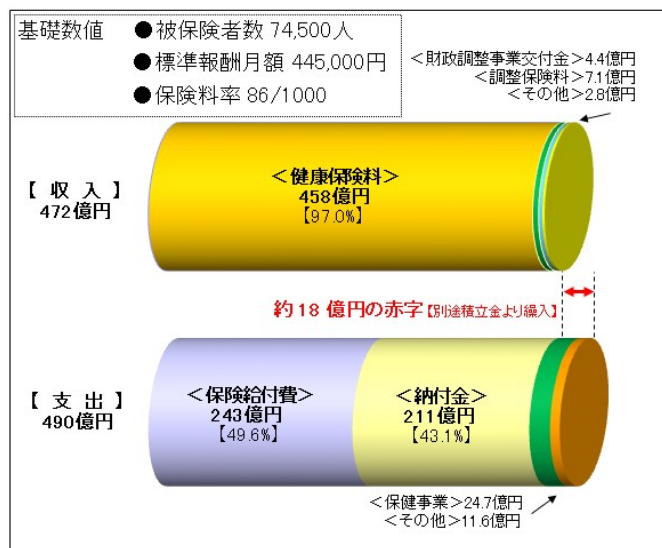
昨今の医療技術の進歩等による医療費（保険給付費）の支出増加や国内の高齢化における国への納付金（支出予算の約 43%）の増額等もあり、約 1.8 億円の赤字予算となりました。

現状を踏まえ、当組合では疾病予防事業（特定健診・人間ドック・郵送検診【がん検診】）等、病気の予防・早期発見のための事業に注力し、医療費の適正化に努めます。

また、「特定健診」、「人間ドック」の結果に基づき、生活習慣の改善が必要な方には、「特定保健指導」を実施し、生活習慣病の予防及び重症化予防に向けた取り組みを実施します。

これらの保健事業の実効性を高めるためには、コラボヘルス（事業主と健保組合の協働）が必須であり、事業主との連携を強化し、効果的な事業の推進を図ってまいります。

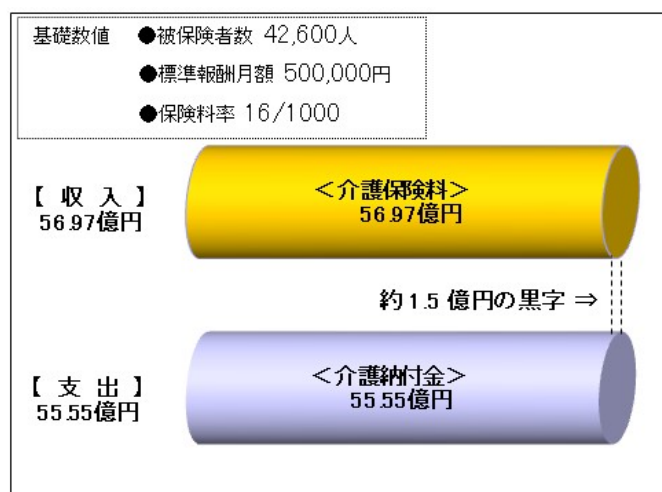
※2019 年度に実施する疾病予防事業につきましては、2～3 頁をご参照ください。



### 2. 介護勘定

2019 年度予算につきましては、国への納付金が総報酬割（報酬が高い健保組合は支出増）への段階的移行に伴い、現行の保険料率（12/1000）では介護準備金が 2019 年度中に枯渇することから、保険料率を「16/1000」に引き上げ、予算編成を行いました。

収入面では保険料率を変更することによる増加、支出面では国内の介護費用の増加および前述の納付金算出方法の段階的移行等による介護納付金増加を勘案し、約 1.5 億円の黒字予算となりました。



# 2019年度 保健事業の概要

一人あたりの医療費は増加傾向にあり、費用対効果の期待できる疾病予防事業に注力の上、医療費の適正化を図る必要があります。

2018年度から国が健保組合へ義務づけた「データヘルス計画」(実施結果の分析等)の第2期がスタートしており、PDCAサイクル(分析⇒計画見直し等)による効果的・効率的な保健事業を実施してまいります。

以下の詳細につきましては、三菱重工健康保険組合のホームページをご確認願います。

【 URL: <http://www.mhi.or.jp/> 】

## 1. 疾病予防事業

(1) KENPOS (ケンポス) の活用	対象者	被保険者および被扶養配偶者(年齢制限なし)
	実施の目的、登録方法等	KENPOS(ケンポス)は、歩数・体重などの記録等ができ、健康ポイント(インセンティブポイント)をためて、賞品と交換することができます。 加入者の皆様の健康意識向上と行動変容による疾病リスクの低減を図ります。 2019年9月以降、KENPOSに新たな2つの機能を追加し、経年で健康診断の結果を閲覧でき、自身の健診結果に特化したアドバイス、生活習慣改善の指導が受けられます。 ※利用するには、登録が必要です。当健保組合のホームページにある「KENPOS」バナーをクリックし、登録作業を行ってください。
(2) 特定健診・特定保健指導	対象者	全ての被保険者及び40歳以上の被扶養者
	特定健診	「メタボ健診」といわれるように、メタボリック・シンドローム(内臓脂肪症候群)に着目した生活習慣病の予防を重視した健診(問診・身体計測・血圧測定・血液検査・尿検査等)です。 被保険者は、事業主健診を受診いただければ特定健診を受診したことになります。 被扶養者・任意継続被保険者等には、3月～5月にかけて健保組合からご案内を送付します。
	対象者	40歳以上の被保険者および被扶養者
	特定保健指導	特定健診の受診結果から、保健指導の対象となった方に保健師・看護師など専門家が食生活の改善や生活習慣改善についての相談・アドバイスを行います。 特定保健指導の対象者には、特定保健指導実施機関等から、ご案内が送付されます。 本年度より、被扶養者および社外休派者につきましては、在宅で空いた時間にスマートフォンを使用して実施する特定保健指導(ICTを活用した遠隔面談・指導等)を導入します。
(3) 糖尿病性腎症の重症化対策	対象者	健診結果から抽出された対象者
	保健指導	対象者へ保健指導を行い、人工透析への移行を防止することで、生活の質の維持と向上を図ります。
(4) 人間ドック・脳ドック	対象者	被保険者および被扶養配偶者(年齢制限なし)
	補助額	人間ドック・脳ドックそれぞれ年度内1回につき、検査費用の7割を補助します。 ただし28,000円を上限とします。
	支給申請手続き	①三菱重工健保契約健診機関で受診する場合 受診の際に「人間ドック・脳ドック補助金請求依頼書(三菱重工健保契約健診機関用)」を病院へ提出し、病院へ健保補助金を控除した額を支払います。 ※差額(補助金部分)は、病院から健保組合へ請求。  ②その他健診機関で受診する場合 病院へ一旦全額支払い、「人間ドック・脳ドック補助金申請書(一般健診機関受診用)」に領収書等を添付の上、当健保組合へ申請。 ※健保組合から本人指定の口座へ振り込み。

(5) 乳がん検診補助	対象者	被保険者および被扶養配偶者(年齢制限なし)
	補助額	年度内1回につき検査費用の7割を補助します。 ただし3,500円を上限とします。
	支給申請手続き	①三菱重工健保契約健診機関で受診する場合 受診の際に「人間ドック・脳ドック補助金請求依頼書(三菱重工健保契約健診機関用)※乳がん検診受診の旨記入下さい。」を病院へ提出し、病院へ健保補助金を控除した額を支払います。 ※差額(補助金部分)は、病院から健保組合へ請求。  ②その他健診(検診)機関で受診する場合 検診機関等で一旦全額支払い、「乳がん検診補助金申請書」に「領収書」を添付の上、当健保組合へ申請。 ※健保組合から本人指定口座へ振り込み。
(6) インフルエンザ 予防接種補助	対象者	被保険者および被扶養者全員(年齢制限なし)
	補助額	年度内1回につき受診者一人あたり接種費用の全額を補助します。 (2回接種法によるときは2回で1回とみなす)
	支給申請手続き	①事業主病院等で受診する場合 支払は不要。(病院により異なる場合があります) ※接種費用の全額を病院から健保組合へ請求。  ②その他医療機関で受診する場合 医療機関で一旦全額支払い、所定の申請書に「領収書」を添付の上、当健保組合へ申請。 ※健保組合から本人指定の口座へ振り込み。
(7) 郵送検査	対象者	被保険者、被扶養配偶者(年齢制限なし)、35歳以上の被扶養者
	5月頃	各種がん検診(①大腸がん、②前立腺がん、 ③ハイリスク・ヒトパピローマウイルス(子宮頸がん)) ※1検査=200円 ※KENPOSインセンティブポイント(1検査100P)付与
	11月頃 (予定)	①生活習慣病検査(血液検査+尿検査) ②アディポネクチン検査(長寿善玉ホルモン測定) ③早期がんリスク検査(男女別早期がんリスク検査) ④胃がんリスク検査ABC分類(ピロリ菌と委縮度検査) ※1検査=500円 ※KENPOSインセンティブポイント(1検査250P)付与

## 2. 施設利用補助等

(1)スポーツクラブ法人契約	補助対象施設	①コナミスポーツクラブ(約460の施設) ②スポーツクラブルネサンス(約100の施設)
	補助対象	被保険者・被扶養配偶者(年齢制限なし)
	補助額	三菱重工健保が契約の料金で利用可能(健保補助を控除した額)
	申請方法	被保険者証を持参し、直接、利用施設で申込みを行い利用料を支払う。 (健保補助が適用された金額で利用できるため、健保への補助金申請は不要)
(2)契約保養所(施設利用補助)	補助対象施設	①「ライフサポート倶楽部」の宿泊施設、②全国のスポーツ施設 ※①②施設の併用申請はできません
	補助範囲	被保険者・被扶養者
	補助額	1年度内の利用につき、健保加入者一人あたり5,000円(税込)を上限に補助
	申請方法	利用日以降に被保険者より健保組合へ補助金申請 ※健保組合から本人指定口座へ振り込み

※その他、2019年度も引き続き重工グループで実施の受動喫煙対策を補完する観点から、禁煙希望者への補助対策等を実施予定です。実施内容等については別途確定次第、周知いたします。